

【編集後記】

昨年（平成 14 年）6 月 28 日（金）、サンスクエア堺 B 棟ホールで「21 世紀の国際時代 浪漫都市「堺」は文化で起つ ～「文化立都・堺」を目指して～」（主催：都市と文化を考えるシンポジウム実行委員会*）を聴講して感動するものがありました。

*：堺市（国際文化部文化担当）、日本ペンクラブ国際委員会、（財）堺市教育委員会、（財）堺都市政策研究会で構成された合同実行委員会

「堺」で「文化」が討論の対象として取り上げられ、しかも、「堺」が、浪漫都市として 21 世紀には「文化立都」を目指していることを確認し、身が震える思いをしました。

市民活動団体である「堺なんや衆」は、まさしく「堺の“まち”文化」を活動の主題として、文化的魅力あふれる個性豊かな「堺」の“まち”づくりを提言することを目的として平成 14 年 2 月 2 日に設立されました。

その生い立ちは、平成 12 年 10 月に堺市都市政策部が公募した「魅力ある都市づくり」市民提案グループ「36 人衆」にさかのぼります。その活動として平成 12 年度から平成 13 年度にかけて継続実施されたワークショップの成果は、平成 14 年 3 月に『魅力ある都市づくり検討資料 作成業務報告書』（堺市都市政策部）としてまとめられました。

そこに参加した有志が、その実践を目指して、かつて、中世の時代に自治都市・堺の中核をなした「36 人衆」の中でも千利休など有力者であった「納屋衆」（納屋＝倉庫を所有した中核的な商人達）をイメージして、大阪弁の疑問形「なんや？」（好奇心の言葉）を掛けたネーミングとして「堺なんや衆」が設立されました。

「会」の活動方針を模索している中で、平成 15 年 12 月 3 日に、堺市が、弥生時代に文化を伝え、古墳文化につながる不死の思想を伝えたと言継がれている“徐福”の生誕地である中国・連雲港市と友好都市提携以来 20 周年を迎えることを知りました。そのロマンあふれるテーマを 20 周年記念行事の一環として取り上げ、堺市民はもとより近隣および日本全国 20 箇所にわたるゆかりの地の方々と“徐福”を語るシンポジウムを開催することを提案しました。

その後、多くの方々からご助言とご支援をいただいたことは、既に、ご報告の通りであります。このように「堺」を中核として日本および中国・連雲港市の市民の皆さんと「ふれあい」、「ここを通わし」、「つながった」証として、この報告書をまとめることが出来ましたことを感謝しております。

「堺市」/「連雲港市」友好都市提携 20 周年記念事業 「中国文化セミナー“徐福”」開催提案活動報告書

- ・ 報告日 平成 15 年 12 月 3 日
- ・ 報告者 市民活動団体「堺なんや衆」
- ・ 編集者 「“徐福”プロジェクト」企画担当
前田秀一（理事、プロジェクト・リーダー）
岡田明寛（理事長）
呉竹 正（理事、「事業推進」タスク担当）
- ・ 編集協力 石川幸子（大阪府日中友好協会 評議員）
- ・ 連絡先 〒591-8021 堺市新金岡町 4-7-56
電話：072-251-6593